

BUNTO News



陶工

姉 柏木 円 さん

土楽窯八代目当主

妹 福森 道歩 さん

TOPICS

この道を、ふたりで歩く

幼い頃の姉妹の様子を、

「いつ行ってみても、自分でこねた器でままごと遊びをしているのだから、こういう人たちにはかなわない」

そう書いたのは、随筆家の白洲正子さんだ。父・雅武さんの器と料理に惚れ込み、度々丸柱の土楽窯を訪れていた。伊賀の土を使った手づくりの土鍋や器が美しく並ぶ敷地内。ここを生活の場に、そして訪れるお客様を料理でもてなす父の姿を見ながら、姉妹は大きくなった。

八代目に就いたのは福森道歩さん。次期当主と目されていた姉・円さんが結婚して家を出ることになったため、志していた料理人の道のうちに取り組み、素直に家に戻った。ひたすら修練を積みながら、跡取りとして今の自分にできることは何かを考え、若い世代に敬遠されがちな土鍋の魅力を得意の料理を通じて伝えること、そこに思い至ったという。コピーライターの糸井重里さんが主催する「MOTOサイト『ぼぼ日』」で、土鍋料理を随時連載。展示会場でも料理を実演し自作の器でもてなしたりと、日常の調理道具としての土鍋の普及に懸命だ。レシピ本も出版し、順調に版を重ねる。今また四冊目に取り掛かっているというのだから、お見事ですとしか言いようがない。

「道歩はよくやっている、すごいと思う。道歩が跡取りで良かった」と称えるのは円さんだ。

自分の表現を求めて土楽を離れ、益子で独立した。その後丸柱に戻って窯を開き、京都の俵屋旅館をメインに器を卸す。土楽の窯では伊賀の土も焼くそうだ。二人でする窯焚きは本当に楽しい、大好きな伊賀に帰って来てよかったと朗らかに笑う。姉として、父と対等に向き合う道歩さんとの間をいつもまあまあ取り持つ。道歩さんを補佐し、土楽を陰で支えるキーパーソンだ。

確かな食材を選び、どのように料理し、どの器で食べようか。父がそうであったように、二人もまた料理ありきを意識して器の試作を繰り返す。

「器は前に出す。後ろに下がらず使えば、主客器ともに喜ぶ」これが土楽の教えです。円さんの言葉のあとを凜とした空気が流れていく。

それぞれが自分の表現方法を確立し、陶工として立つ。辿り着いたこの道を、おれることなく真っ直ぐ、真っ当に。土楽のご先祖さまに導かれた、土を挽く者の生き方。

白洲正子さんも、姉妹がこうなることはちゃんとなわかっていたのかも知れない。

(文 広報事業委員 岡森史枝・写真 山口貴史)

ふるさと
盛り上げ隊

小さくて 頑丈な暮らしを作る

伊賀市別府にある愛農学園農業高等学校で近藤百さんにお話を聞かせて頂きました。愛農学園は1学年25名定員の全寮制の農業高校。近藤さんも学園内で生活をされています。

以前は材木を扱う営業職で全国を飛び回っていたそうです。稼ぐことが優先される社会、木材へのリスペクトを感じられず、林業の在り方や消費と生産の在り方について考えさせられていたところ、内田樹氏の教育論の著書に出会い、教育のなかには効率的資本主義が含まれているのではないかと？今の教育に出来ない事は何かを見つけたと、教育実習時にお世話になった愛農学園の校長先生を訪ね、勤めさせてもらう事となったそうです。

「人は安心を求め生きている」と考えると、お金を持つ事より、自分であらゆる事ができる方が安心、土地があればあらゆる事が出来る。私たちは稼いで消費するのではなく、消費をしながら生産をする、または生産をしながら消費をする。その一つの生き方が農業であって、生活の基盤でもある愛農学園で働きながら農業をする暮らしにつながっています。」そんな近藤さんのテーマが「小さくて頑丈な暮らしを作る」。循環をまわせる大きさ、自分たちの力でまわして長持ちする暮らしを作る。「長持ちした向こう側は長持ちした先しかわからない」と語っていました。

これからも伊賀で暮らししていきたい、自分の暮らしを作りたい、その道を作りたい。地域で暮らす兼業農家になり、地域での農家としての暮らしと愛農学園での暮らしとを両立させ、地域では学校でも作っているぶどうを作りたいそうです。

農薬を使わないこだわりのぶどうで甘味の中に酸味もある、根強いファンも多い品種なのだから。機会があれば頂いてみたいです。

(文・写真 広報事業委員 下猶茂樹)



愛農学園農業高等学校教師

近藤 百 さん
(伊賀市別府在住)

文化
あれこれ
春夏秋冬

猫と帽子とひとり旅

上野車坂町菅原神社東御旅所すぐそばの気になる古民家『タマカフェ☆ギャラリィ878』。ギャラリィ奥のカフェの営業日にはドリップコーヒーの香りとともにオーナーお手製の菓子も登場するとか。休業日のギャラリースペースの薄闇では、シルエットだけの帽子たちがひそひそ話をしている。

帽子・布小物作家、タマヨシコ。旅が好きで猫が好き。作家名を考えたときに「猫といえはタマ」と思った。それだけだと名前らしくない気がして本名のヨシコ(芳子)を足した。何気なくつけたが、今となってはおそろしいほどに『タマヨシコ』って自分そのものと思う。先生に付いて着物リメイクを長くやってきた。2000年頃、造形作家の夫から「帽子をつくって欲しい」と頼まれ、何気なく作ったものが評判に。きっかけはどうあれ帽子制作が続いているのは創ることが好きだから。

気の向くままに出かける旅も大好き。宿を出て知らない町の小路をひとり散策する。旅という非日常の時空の中、その土地に暮らす人たちの夕餚の匂いや音に懐かしいような切ないような気持ちで胸がいっぱいになる。知らない土地の夕焼けや朝日、昔は火山だった島々のこと、海のこと、山のこと、その土地に棲む猫たちのことなど話は尽きない。

「山口県に椿の群生林があって、そこには鳥がたくさんいてね、その猫たちが・・・」

好きだと思った場所には三度は行く。

カフェの椅子に居ながら彼女の次の旅はもう始まっているらしい。

(文・写真 広報事業委員 今西由佳)



帽子・布小物作家

タマヨシコ さん



一筆啓上
ふるさとへ

山は青き故郷 水は清き故郷

私は今、東京でオペラ歌手として活動しています。

高校卒業と同時に上京し、国立音楽大学・同大学院修士課程で声楽とオペラを専門的に学びました。卒業後はそのままプロとして様々なコンサートやテレビ番組に出演しています。

思えば、上京してから今まで、ひたすら夢に向かって走り続けた日々でした。クラシック音楽業界はシビアな実力社会。遊ぶよりもとにかく練習！という日々を何年も過ごしています。そのため、地元に戻るのにはお盆とお正月の年に2回程度。寂しくてホームシックになることもありました。

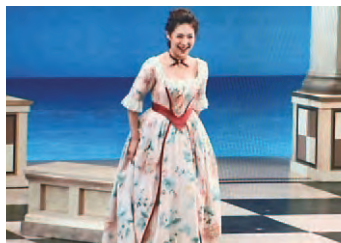
そんな時はいつも、心の中にある風景を思い出します。高校生の時、吹奏楽部の練習で楽器を吹きによく訪れていた上野城。そこで眺めたあの青々とした伊賀の山脈を思い浮かべると、不思議と力が湧いてくるのです。コンサートでかの有名な「ふるさと」を歌う時にも、思い浮かぶのはあの美しい情景です。そうして生まれ故郷を思いながら歌う「ふるさと」に、涙を流してくださるお客様がいらっしゃった時：距離は遠くとも、故郷が私に力をくれていると感じます。

今は、これまで通りのコンサートを開くことが難しい状況です。しかし、希望を捨てずに努力を続け、今度は私が音楽の力で故郷の皆様に笑顔をお届けしたいです。その時は心を込めて、「ふるさと」を歌わせて頂きたいと思っています。

(広報事業委員 菊野善久)



メゾ・ソプラノ
谷本 雅 さん



CLASSIC

ただ今、ウォーミングアップ中!!

皆さんはスポーツをする前に、必ずウォーミングアップをしますよね。いきなり本気で走ったり、試合に臨んだりする人はいないでしょう。実は音楽の世界も同じなのです。いきなり曲の練習を始めたり、ステージに立ったりすることはまずありません。

ウォーミングアップとは、「運動によるケガの防止や、主運動を行うための身体の準備、その運動に対する能力を最大に発揮できる状態をつくることを目的に行う、運動前の準備運動」のことです。演奏家たちはウォーミングアップを大切にしています。

最初に、「主運動を行うための身体の準備」を行います。これは人それぞれですが、私の場合、首や肩、手指、顔の筋肉などのストレッチをし、柔軟性を高めます。次に「能力を最大に発揮できる」ために、基本練習を行います。ロングトーン（音を長く伸ばして音色を調整）やスケール（音階を吹いて指を目覚めさせる）などなど、これも楽器や各奏者によって様々です。

そして「ケガの防止」です。音楽していてケガするの？と思われる方も多いと思います。もちろん外傷を負うことは滅多にありません。筋肉神経を痛めてしまふのです。その原因には、無理な姿勢や無駄な動き、余分な力が入っていること等が挙げられます。曲の練習や本番ではなかなか意識することが難しいため、ウォーミングアップの時点でじっくり確認することも必要なのです。

スポーツと同じように、音楽の世界でもケガは致命的です。指が自由に動かなくなる、楽器が構えられなくなる、音が出せなくなるなどの状況に陥ります。しかもなかなか治りません。実は私も手を痛めたことがあり、その恐ろしさを知っています。

イベントの自粛、延期、中止が続いています。先が見えず、プロ、アマを問わず、いろいろな分野で活動している人が、悔しく歯痒い思いを抱いているでしょう。でも前向きになれるニュースが、少しずつ増えていますね。

私たち伊賀オケのメンバーは、ただ今、長い長いウォーミングアップ中です!! それぞれが今できることを積み重ねています。次回の演奏会まで、しばらくお待ちください。



伊賀コミュニティオーケストラ
森内 啓太 (フルート)

「カエルは実在した」

伊藤たかみ

息子がまだ保育園に通っていたときのこと。電動機つき自転車に乗せて家路を急いでいたら、

「カエルって本当にいる動物？」

と聞かれてびっくりした。

ええーっ、それじゃ絵本で何度も見てきたカエルのことを、空想上の存在だと思っていたの？ カッパの子分みたいにな？

これはいかんと思ったものの、よく考えてみたら仕方ないこともあった。なにせわが家の窓からは都庁も見えるくらいだ、東京の中でもかなり都心部にある。お世辞にも自然が豊かな環境ではない。

そのかわりに自然の多い公園や施設が整備されているのだけれど、肝心の息子が虫や小動物のいる場所を嫌がるので、あまり遊ばせたこともなかったのだ。

ということもあって翌年の夏休み、カエルでも見せてやろうと三重の実家に息子を連れ帰った。

ちなみに実家の庭は、小さな植物園みたいである。あるいはテーマのない園芸店のようでもあり、ちょっとしたカオス状態だ。ブルーベリーに松に桜、外国産の木や花が所狭しと植えられ、ガゼボなる西洋風の東屋——簡単にいえば屋根つきの休憩所みたいなものでしつらえてある。こういうところで、自然にふれあうというほうが無理な話だ。

もちろんこれを本当の自然と呼んでいいのは難しいが、筋金入り都会っ子の息子にはちょうどいいはずだった。実際、小さな羽虫さえ嫌がっていた彼も、次第にクモやハチくらいなら平気になった。やがては、そんな場所に吊ったハンモックで一日中遊ぶようになった。

だが、肝心のカエルが一向に出てこない。

伊藤たかみの

カエルは実在した



Vol.7

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
『八月の路上に捨てた』（文藝春秋）で第135回芥川賞。
『ぎぶそん』ポプラ社、坪田譲治文学賞 など児童書も手がける。

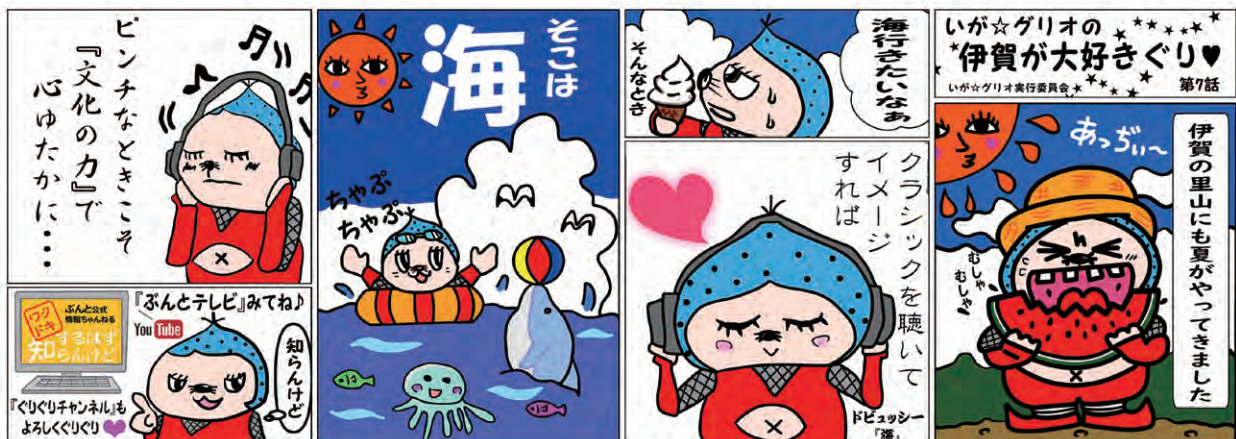
記憶をたぐり寄せてみたら、そもそも自分がここで暮らしていた十代の頃から、カエルを見た覚えがないことに気づいた。高台の住宅街で田んぼがあるわけでもないのだから、ちよつと考えてみればわかりそうなものなのに、僕のほうも、いつの間にか自然の感覚が鈍っていたようだ。実は自分もカエルに不慣れだったのだ。

こうして夏のカエル計画は不首尾に終わってしまった。

ところが少しして奇跡が起きたのである。神からの贈り物か、それともいたずらか、保育園からの帰り道に出会ってしまった。なんと文庫本より大きなヒキガエル！ そいつが東京の暑い路上をもつさりと横断していた。僕は思わず自転車を止めてカエルが横断し終わるのを見届けることにした。隣では女の人がスマホのカメラで撮影を始めた。なんとはなしに、お互いにつこりとほほえむ。懐かしいですなえと無言で伝えあっていた。

もっとも息子的には、やっと実物を見ることでできて満足、というわけにはいかなかったようだ。絵本に出てくる、緑のかわいいカエルを待ち望んでいたのかもしれない。巨大な茶色い姿はインパクトが強すぎたらしく、ちよつとひいていた。

以来、カエルのカの字もいわない。



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

ぶんとチャイルドクラシックプログラム —おなかのなかから小学生になるまで—

おなかのなかからクラシック

ママとおなかの赤ちゃんに贈る、初めてのコンサート心地よい音楽で赤ちゃんと一緒にリラックス!



小林志穂 (Fl)
大西真衣 (Pf)

■開催日時 9月6日(日)
開場 10:00 開演 10:30
■会場 伊賀市文化会館
■料金 無料
■対象 妊娠中のお母さんと、
大人の同伴者2名様まで
■申込受付 8月1日(土)
10:00から ☎22-0511

わんぱくキッズのクラシック探検隊

元気いっぱいわんぱく期の子ども達は、好奇心旺盛!音楽を聴くだけでなく、踊ったり、歌ったり♪体じゅうで探検しよう。

■開催日時 9月13日(日) ■会場 伊賀市文化会館
開場 10:00 ■料金 大人 500円
開演 10:30 子ども 100円
■対象 2歳から年中児とその保護者

2歳になるまでのクラシック

「ハイハイ」「よちよち」期のおともだちといっしょに!感性豊かなこの成長期にクラシックを聴きましょう。

■開催日時 9月13日(日) ■会場 伊賀市文化会館
開場 13:00 ■料金 大人 500円
開演 13:30 子ども 100円
■対象 0歳から1歳とその保護者



SAXAS【新井貴之(Sax)、
上馬場啓介(Sax)、水池
謙元(Pf)、山本かずみ
(Vo) 新井宗平(Per)

■発売日 8月1日(土)

なるほど〜クラシック ロマン派音楽の楽しみ Vol.2 〜ブラームスの魅力に迫る〜



「クラシックのいろは2020」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー!この講座を受けると、より一層楽しめること間違いなし!!

Vol.13 ブラームスの室内楽の名作を味わう①
ブラームスの三重奏曲は渋い

講師:鳥居明夫(伊賀コミュニティオーケストラ指揮者)

■開催日時 9月12日(土) 14:00 ~
■会場 伊賀市文化会館 多目的室
■料金 無料(事前申込み不要)

TOUCH THE STEINWAY 憧れのスタインウェイが弾ける

■青山ホール 9月6日(日)
■あやま文化センター 9月27日(日)

開催時間 各日 10:00~17:00

□演奏時間 30分
□参加費 1枠 500円 ※1枠2名様まで
・青山ホールは2台のピアノ同時演奏も可能
参加費 1枠(60分) 2,000円 ※1枠4名様まで
□募集人数 各 14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
□申込方法 8月22日(土) 11:00から電話受付
●青山ホール ☎52-1109(水曜休館)
●あやま文化センター ☎43-1125(月曜休館)
※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。
※受付初日は1回のお電話で2枠まで(2台利用の場合は1枠のみ)
の受付とします。



ぶんと己書講座

大人講座

9月9日・23日・
10月14日・10月28日・11月11日
水曜 全5回コース
10:30~12:00(90分)

こども講座

9月5日・19日
土曜 10:00~11:00(60分)
9月14日・9月28日
月曜 16:30~17:30(60分)

□場所 伊賀市文化会館 会議室
□料金 大人講座 10,000円(全5回コース)
こども講座 1,500円(1回)

★特別特典★

大人教室の参加者には筆ペンとオリジナル落款をプレゼント♪
□申込 8月8日(土) 9:00から電話22-0511で受け付けます。
※こども講座は、1回のお電話で複数回の申込みが可能です。
※詳細はチラシ、ぶんとホームページ等をご覧ください。



新鋭オーケストラと合唱団で創るコンサート 一般公募 「響楽-IGANOKUNI-」 合唱団員募集!

【募集定数】32名(ソーシャルディスタンスを考慮しての募集人数です)
(高音パートのソプラノ・アルトで22名、低音パートのテナー・バスで10名)
【参加資格】中学生以上(楽譜が読め、全ての練習に出席が望ましい)
※本公演のチケット2枚(2,000円相当)をご購入ください。
【合唱曲】ふるさとの四季(日本語)【本番日の合唱所要時間】20分程度
【合唱指導】山本 健太
【練習日程】①9/30(水)・②10/7(水)・③10/14(水)・④10/26(月)・⑤11/7(土)
【練習会場】伊賀市文化会館
【練習時間帯】(水)・(月)=19:30~21:30 ※開催前日と当日の時間は後日決定します。
【募集期間】8月16日(日)~9月5日(土)
【受付時間】9:00~17:00
【申込受付】電話22-0511にて先着順に受付します。
※1回のお電話で2名様まで受付可
【本番日時】11月8日(日) 13:15開場(予定)14:00開演(予定)
【本番会場】伊賀市文化会館
※詳細は「募集チラシ」又は「ぶんとHP」をご覧ください。

すうこうどう寄席 Vol.23

歴史情緒あふれる史跡旧崇広堂にてワンコインで気軽に楽しめる落語会

■日 時
10月3日(土)
開場 18:15
開演 19:00
■会 場 史跡旧崇広堂
(伊賀市上野丸之内78-1)
■料 金 500円
(全席自由)
■出 演 林家菊丸
桂 笑金
■発売日 8月1日(土)



ベートーヴェン生誕 250 周年記念 ~フォルテピアノで蘇る18世紀の響き~

■日 時
10月10日(土)
開場 13:30
開演 14:00
■会 場 史跡旧崇広堂
(伊賀市上野丸之内78-1)
■料 金 1,000円
(全席自由)
■出 演 高田泰治
(鍵盤奏者)
■発売日 9月5日(土)



BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

8. 1 (土)

▼
8.10 (月・祝)OPEN10:00~18:30
(最終日 16:00)

入場無料

AKAIKE ART GALLERY2020

『捕食』 つのだゆき GLASS EXHIBITION



会 場 武家屋敷 赤井家住宅 (伊賀市上野忍町 2491-1)
出 展 つのだ ゆき (ガラス昆虫作家)

9.11 (金)

▼
9.14 (月)OPEN9:00~17:00
(最終日 15:00)

入場無料

京都絞りフェア 2020 in 伊賀上野

華麗なる京絞りの世界



会 場 武家屋敷 赤井家住宅 (伊賀市上野忍町 2491-1)
出 展 絞り守護神絵図ほか400点 共催/京都絞り工芸館

8. 8 (土)

▼
8.30 (日)

OPEN10:00~16:30

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎特別企画展

伝承・創造 伊賀焼『今昔』

伊賀焼伝統技術保存会第5回会員展

数点の「古伊賀」作品などと現代の作家の作品を見比べ、桃山時代から続く伊賀焼の歴史と伝統を感じながら、伊賀焼の魅力を感じてください。

観覧料 一般300円 高校生以下無料 (8/24 ~ 8/30は期間限定無料)

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 (伊賀市別府 718-3)
出 展 新 歓嗣、工藤二郎、小島憲二、谷本 景、恒岡光興

■右記特別企画のお申込は、8.8㊥ 10:00から電話22-0511で受付開始。

特別企画

8.23 ㊥

▼

8.30 ㊥



■茶室「聴樹庵」にて伊賀焼茶碗で「茶」を嗜む

①10:00~②11:00~③13:00~④14:00~
定員 各回3名[予約制] 呈茶代400円

■伊賀焼陶芸家によるギャラリートーク

①13:30~②15:00~ 定員 各回10名[予約制]

9.11 (金)

▼
12.20 (日)OPEN10:00~16:30
火曜日定休観覧料 一般300円
(高校生以下無料)美の視点 一穂月明の
収集古物を紐解くー

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 (伊賀市別府 718-3)
講演会 宮治 明氏 基調講演(名古屋大学名誉教授)
10/3㊥ 14:00 ~ 青山ホール 入場無料
企画・協力 (一財)東洋文化資料館 青山讃頌舎

9.18 (金)

▼
9.27 (日)OPEN10:00~19:00
(最終日 16:00)
火曜日定休会期中限定
入場無料

伊賀 × 信楽交流展

華道家 厚見美幸の「花」と「陶」の世界



会 場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内 78-1)
出 展 新 歓嗣、小島憲二、谷本 景、蓮 善隆
上田直方、小原康裕、澤 清嗣、高橋栄斎、藤本 秀
挿 花 華道家 厚見美幸

10. 2 (金)

▼
11.29 (日)OPEN9:00~16:30
月・火曜日定休

〈「風還元」野外プロジェクト/城之越遺跡〉

大 平 和 正 展

一城之越遺跡よ、風に還れー

入園料 一般300円 高校生以下100円

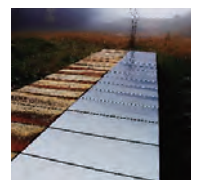
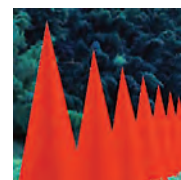
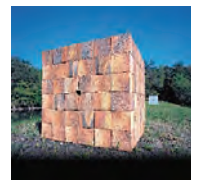
※未就学児無料

会 場 城之越遺跡 (伊賀市比土 4724) ☎36-0055

■AUTUMN NIGHT MUSEUM/オータムナイトミュージアム
10.16㊥-10.18㊥ OPEN17:30~20:30 3日間限定ライトアップ

■特別講演「日本最古の庭〜城之越遺跡〜」

講師 三重県埋蔵文化財センター 穂積裕昌氏 10.18㊥ 14:00 ~ [要予約]

■アーティストトーク「城之越遺跡は風に還ったか」彫刻家 大平和正氏 11.3㊥ 14:00 ~ [要予約]
予約受付/10.3㊥ 10:00から電話22-0511にて受付 (各先着20名)

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

9月13日(日) ①開場 10:00 開演 10:30
②開場 13:00 開演 13:30

チャイルドクラシックプログラム

- ①わんぱくキッズのクラシック探検隊
対象：2歳から年中児とその保護者
②2歳になるまでのクラシック
対象：0歳から1歳とその保護者

■会場 伊賀市文化会館

一般 500円
子ども 100円
自由席 8/1(土)発売



Sax 新井貴之



Sax 上馬場啓介



Pf 水池謙元



Per 新井宗平



Vo 山本かずみ

9月19日(土) 開場 13:15
開演 14:00

クラシックのいろは 2020
ブラームスを究める Vol.2

室内楽で聴くブラームスの情熱と気品①
ブラームス：ホルン三重奏曲
ピアノ三重奏曲 ほか

■会場 伊賀市文化会館

単発指定席 1,800円
自由席 一般 1,500円
SaMaZaMa Club会員 1,300円
高校生以下 500円
ペアチケット 2,400円
発売中



Vn 岡本伸一郎



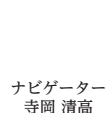
Vc 増山 頌子



Hr 細田 昌宏



Pf 原 由莉子

ナビゲーター
寺岡 清高

9月22日(火・祝) 開場 13:15
開演 14:00

0歳からのファミリー
クラシックコンサート 振替公演

動物の謝肉祭

■会場 伊賀市文化会館

一般(中学生以上) 1,000円
子ども(3歳以上) 500円
指定席 8/1(土)発売



指揮：山本 健太



演奏：IGAオーケストラアンサンブルBUNTO

11月21日(土) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.20 振替公演

クラリネット・弦楽器による
室内楽の調べ

■会場 青山ホール

一般 500円
自由席 8/30(日)発売



Cl 福岡 裕子



Vn 三上さくら



Vn 玉井 元



Vla 北川もみじ



Vc 山内睦大

11月22日(日) 開場 13:15
開演 14:00

クラシックのいろは 2020
ブラームスを究める Vol.3

室内楽で聴くブラームスの情熱と気品②
～クララとの恋の真実は？～

■会場 伊賀市文化会館

単発指定席 1,800円
自由席 一般 1,500円
SaMaZaMa Club会員 1,300円
高校生以下 500円
ペアチケット 2,400円
発売中



Vn 岡本伸一郎



Vla 早田 類



Vc 増山 頌子



Pf 河内 仁志

ナビゲーター
寺岡 清高

11月29日(日) 開場 13:30
開演 14:00

青山推薦第30回記念コンサート

■会場 青山ホール

一般 2,000円
大学生以下 1,000円(未就学児入場不可)
9/26(土)発売

出演：北川 美晃(P)/今野 尚美(P)/
田中 慈子(P)/島谷 万寿美(Cl)/
中澤 美紀(Fg)/久保田 道子(Sop)/
谷本 綾香(M.Sop)
アインパラスト室内管弦楽団
指揮：山口 俊一



Pf 原 由莉子



Vn 玉井 元



Vc 山内睦大



Vn 玉井 元

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
8月29日(土) 13:00～	中学生のメッセージ2020 (第42回少年の主張三重県大会)	関係者のみ	公益財団法人三重子どもわかの育成財団 総務・子ども若者育成事業部(佐藤) ☎0598-23-7735
9月6日(日) 10:30～	チャイルドクラシックプログラム おなかのなかから小学生になるまで おなかのなかからクラシック	無料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月13日(日) 10:30～	チャイルドクラシックプログラム おなかのなかから小学生になるまで わんぱくキッズのクラシック探検隊	大人 500円 子ども100円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月13日(日) 13:30～	チャイルドクラシックプログラム おなかのなかから小学生になるまで 2歳になるまでのクラシック	大人 500円 子ども100円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月19日(土) 14:00～	Classicのいろは2020 ブラームスを究める Vol.2 室内楽で聴くブラームスの情熱と気品①	単発指定席 1,800円 自由席 一般 1,500円 高校生以下 500円 ペア 2,400円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月22日(火・祝) 14:00～	0歳からの ファミリークラシックコンサート	指定席 一般 1,000円 子ども 500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)

青山ホール

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
8月2日(日) 13:30～	ぶちこんさと	無料	津内久美子・肥前奈穂美・澤 実香 ☎61-0414 (澤 実香)
9月6日(日) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)

あやま文化センター

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
8月8日(土) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)
9月27日(日) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)

【お問い合わせ】

(公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 <http://www.bunto.com>
伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015 青山ホール ☎0595(52)1109
あやま文化センター ☎0595(43)1125

今回の発行は10月1日号になります。